



5年生が「福祉体験」を実施しました

14日（月）の5・6時間目、町の社会福祉協議会の方々の指導で、福祉体験を実施しました。車椅子の体験やアイマスクを着けての白杖を使った体験など、大切な勉強をたくさんすることができました。子供たちは説明を受けて、しっかり取り組みましたが、見ていて思ったのは、「相手意識の大切さ」です。車椅子を押す人、白杖を使用している方を案内する人の役になったとき、「今から動きますよ」「肩をお貸ししますよ」など、しっかり相手の立場に立って、寄り添う声かけをしながら移動することが必要です。目線や位置の違いにより、想像以上に不安を感じてしまうもの。子供たちは、その点を感じ取りながら体験に臨んでいたようです。普段の生活にも生かせる視点だと感じます。



前途洋々

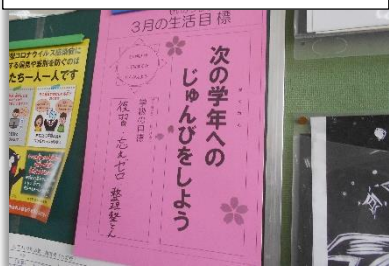
～ 一年の終わりをを感じる光景 ～

いよいよ来週で本年度の授業はおしまいです。各学級では、一年の学習のまとめが行われていますが、「いよいよ今年も終わるんだな・・・」と感じさせられる光景がいくつも見られます。一番上の写真は一年生が作成した「世界にたった一つだけの画集」というタイトルの冊子です。それぞれの子供たちがこれまでに書き上げてきた絵が一冊ずつにまとめられています。子供たちの学習の軌跡が「絵」という形で展示されていました。その下の写真は、進級を前に、まとめの活用問題にチャレンジしている5年生です。4年生の教室

世界に一冊の画集です



次の学年への準備を呼びかける生活目標



室を見てみると、「次の学年への準備をしよう」という4月を意識した生活目標が。体育館では、6年生が卒業式の練習中です。まだまだ完璧ではありませんが、お家の方々に感謝の気持ちを伝えるために、頑張ってくれるものと信じています。一年で大きく成長した子供たち。次はどんな姿を見せてくれるのでしょうか。

まとめの活用問題にチャレンジ!



3月の「ふるさとくまさんデー」は、玉名・荒尾地区から!

3月のメニューは、玉名・荒尾地区の名産を使った「南関あげ丼、牛乳、焼き海苔ドレッシングサラダ、いちご」でした。南関あげは、南関町に古くから伝わる揚げ豆腐で、昔から家庭料理で親しまれた伝統食品です。以前はもう少し厚かったそうですが、長く保存ができるようにできるだけ豆腐を薄くして作るようになり、今の「南関あげ」の形になったそうです。また、有明海は海苔の養殖で有名ですが、日本の生産量のおよそ5割が有明海産だそうです。横島町はイチゴの生産で有名ですね。一日に5、6粒食べれば一日に必要なビタミンCを摂取できるそうです。もう、今年の給食もあと1回。今年も給食の先生方のおかげで、おいしい給食が毎日決まった時間にいただきました。お世話になりました。

